

10. 四国（地域別調査機関：四国経済連合会）

（－：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連 (四国)	◎	－	－	－
	○	商店街（代表者）	来客数の動き	・今月の2回の連休共に、かなりの数のインバウンドも含めて、観光客や外来者が多かった。イベント等も多くの人でにぎわい、それが飲食中心に売上に貢献している。
	○	百貨店（マネージャー）	販売量の動き	・インバウンド向けと高額品が引き続き好調に推移している。
	○	スーパー（人事）	来客数の動き	・3か月前が電気料金負担増の月であり、そのときの節約志向は薄れつつある。
	○	スーパー（財務担当）	来客数の動き	・販売促進強化もあり、7月以降、来客数の前年比プラスが継続している。
	○	その他専門店〔酒〕（経営者）	来客数の動き	・大分涼しくなり、それなりに客の動きも活発になっている。それに加え、当地域は秋祭りがあるため、少し景気が良くなっている。
	○	観光型旅館（経営者）	来客数の動き	・海外からの地元空港直行便運航の効果が出てきており、来客数を底上げしている。
	○	競艇場（マネージャー）	販売量の動き	・物価高傾向の不安にも慣れてきたため、販売量は増加傾向である。
	□	商店街（常務理事）	販売量の動き	・残暑が厳しく秋物商戦に火が付きにくい状況である。消費者はイベントやレジャー、季節の催し事には積極的に足を運んで参加しており、これらに伴う消費は堅調な模様である。ただし、全体的には経済や所得の先行きの不透明感から、大半の人の財布のひもは固いままである。
	□	一般小売店〔生花〕（経営者）	お客様の様子	・新型コロナウイルス感染症や猛暑が落ち着いたことで、来客数も例年並みに戻ってきた。物価高騰も納得して購入されるが予算は抑えたい様子である。
	□	スーパー（企画担当）	販売量の動き	・コスト増加に伴う商品価格のアップなど依然として先行きが不透明である。
	□	スーパー（企画担当）	販売量の動き	・売上に関しては継続している値上げの影響で増加しているが、猛暑の影響で衣料品の販売数が減少しており、総合的に横ばいの傾向である。
	□	コンビニ（店長）	来客数の動き	・来客数が前年比5%減少となっている。
	□	コンビニ（店長）	来客数の動き	・来客数は、やや減少傾向が続いている。商品の価格上昇で、売上額はほぼ前年並みを確保できているが、来客数の減少が懸念される。
	□	コンビニ（総務）	来客数の動き	・来客数の前年割れが回復傾向にない。
	□	コンビニ（商品担当）	単価の動き	・依然として、容器、包材及び原材料などの価格高騰が商品価格に影響している。
	□	家電量販店（副店長）	販売量の動き	・9月より、当地域の省エネ家電購入応援キャンペーンの開催に伴い、冷蔵庫、エアコン、テレビ、照明の売上が160%から200%の伸長になっている。一方、その他主要商品については前年割れの状況である。
	□	乗用車販売業（営業担当）	販売量の動き	・人気車種を中心に販売停止車両が多く、苦戦している。
	□	乗用車販売店（役員）	販売量の動き	・受注状況について大きな変化はない。
	□	その他小売〔ショッピングセンター〕（館長）	来客数の動き	・9月は台風の影響で月初めの数字が悪かったが、それ以降は順調に推移している。
□	タクシー運転手	お客様の様子	・3か月前と比べて、売上や客の人数等はおおむね横ばいである。現状を1週間サイクルでみると、月曜日から木曜日までは客の移動等が少ない。一方で、金曜日及び土曜日は、客の移動や飲食などの状態も良くなっているものの、1週間全体でみると客足は少ない。	
□	観光遊園地（主幹）	来客数の動き	・来場者数の推移が横ばいである。	

	□	設計事務所（所長）	単価の動き	・建築費の高止まりの状況は、依然として続いている。
	▲	商店街（代表者）	来客数の動き	・来客数が、多少ではあるが前年比で減少傾向にある。いろいろな物の値上げ等による物価高が少しずつ消費者に影響している。経費や人件費が上昇しているため値上げは仕方がないが難しい状況が続いている。
	▲	一般小売店〔文具店〕（経営者）	来客数の動き	・今夏は、例年と比べて販売量の動きは低迷していたものの、9月に入り、少しではあるが増加した。例年と同様の動きではなく、今年は特に厳しい状況である。年度末及び年度後期に期待して仕事に励んでいく。
	▲	スーパー（店長）	お客様の様子	・真夏日が続いたことや8月の備蓄需要もあり、買い控えがみられる。
	▲	スーパー（統括担当）	競争相手の様子	・各スーパーの新聞折込チラシが増加している、あるいは紙面が大きくなっている。来客数が減少している証である。
	▲	衣料品専門店（経営者）	販売量の動き	・9月は、8月のバーゲンセールが下火になり、徐々に初秋物が増加していく季節になる。しかし、今年の場合は非常に残暑が厳しく、ほぼ夏のような気候であったことから、単価の高い初秋物の動きがなかったとともに、夏物が大きく売れたわけでもなかったため厳しい状況であった。
	▲	衣料品専門店（経営者）	来客数の動き	・物価が上昇し、消費自体が良くない。国は賃金上げを希望しているが、中小企業は今後かなり厳しくなる。
	▲	家電量販店（店員）	販売量の動き	・来客数は変わらないものの、購入せずに帰ることが増加している。
	▲	都市型ホテル（経営者）	来客数の動き	・8月の地震後の臨時情報、そして2つの台風の影響による売上減少後、来客の動きが良くない。
	▲	美容室（経営者）	来客数の動き	・例年どおり9月及び10月は、余り人が動かないため売上が減少する。
	×	一般小売店〔酒〕（経営者）	お客様の様子	・物価上昇のため、必要な商品以外の購入はない。
	×	一般小売店〔書籍〕（営業担当）	お客様の様子	・10代から20代の若年層の電子書籍の利用が急激に増加している。この年代の本の需要は、ますます減少している。
	×	一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・来客数は、減少している。新型コロナウイルス感染症の影響が小さかった前年から増加していない。
	×	タクシー運転手	来客数の動き	・四国遍路の仕事が、本格的に始まるのは来月からになる。そのため現時点では、街でほぼ仕事をしていて、夜は週末の人出はあるものの、平日はなかなか人出が多くないことから、それほど売上は増加していない。
	×	美容室（経営者）	来客数の動き	・暇な日が続いて、閑古鳥が鳴いている。
企業 動向 関連 (四国)	◎	—	—	—
	○	繊維工業（経営者）	受注量や販売量の動き	・9月中旬を過ぎても猛暑が続いており、引き続き受注は旺盛である。地方の小売店もおおむね好調で、全国的には悪くはない。全国の小売店からの受注内容をみていると、インバウンド需要が北海道、東北、九州などの地方都市や観光地に流れている。
	○	通信会社（総務担当）	それ以外	・本社から訪問する出張者が増加しているが、ホテルがほとんど予約できない状況である。しかも、地域のボランティア活動に参加する社員やOBが増加していることに加え、他の企業からの参加者も増加している。
	□	一般機械器具製造業（経理担当）	受注量や販売量の動き	・我が国では、大規模工事が実施・計画されている一方で、慢性的なオペレーター不足や労働時間上限規制の影響見極めの動きもあり、需要は減少している。海外では、アジア、オセアニア、アフリカで需要が減少したものの、全体としては増加している。

	<input type="checkbox"/>	電気機械器具製造業（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・社会人や事業者のマインドが低い。能登で自然災害があり、改めて南海トラフ地震の危険を感じており、そのようなマインドがどうしても払拭できていない。事業欲や向上心が、事業者のなかで少し薄い。
	<input type="checkbox"/>	建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・相変わらず、官民とも出件物件が少ない。
	<input type="checkbox"/>	輸送業（経営者）	受注量や販売量の動き	・変化がみられないことに懸念がある。
	<input type="checkbox"/>	金融業（副支店長）	取引先の様子	・3か月前から大きな変化はない。
	<input type="checkbox"/>	税理士事務所	取引先の様子	・売上は多少増加しているものの、経費が増加していることから、利益に変化はみられない。
	<input checked="" type="checkbox"/>	農林水産業（職員）	受注価格や販売価格の動き	・青果物の卸売価格は、猛暑から多くの品目で生育が悪く、絶対量不足から高値傾向が続いてきた。ただし、小売価格は卸値に比例して上昇しきっておらず、店持ちの悪さも加わり量販店の利益率は低下傾向にある。このため、卸値も品目によっては数量が少ない割に単価が伸び悩む傾向がみられてきており、販売環境は悪化傾向にある。
	<input checked="" type="checkbox"/>	木材木製品製造業（営業部長）	受注量や販売量の動き	・受注量が大幅に減少した。台風や温暖化の影響を受けて現場の進捗が大幅に遅延したことが主要因であるが、それでも受注減少幅が大きいとみている。今後もこの傾向は継続する。
雇用 関連 (四国)	<input checked="" type="checkbox"/>	—	—	—
	<input type="checkbox"/>	学校 [大学] (就職担当)	求人数の動き	・構造的な人手不足要因に加えて、このところのインバウンド需要で更に人手が不足しており、求人数が増加している。
	<input type="checkbox"/>	人材派遣会社 (総務部長)	求職者数の動き	・求人数に比べ求職者の数が少ない。
	<input type="checkbox"/>	求人情報誌 (営業)	採用者数の動き	・企業の求人数は微増傾向であるが、既出の求人数が充足しないまま、新規求人数が積み上がっている。求職者数は一定数いるものの、マッチングが難しく、充足できていない企業が増加している。
	<input type="checkbox"/>	職業安定所 (求人開発)	求職者数の動き	・新規求職者数は前月と比べると若干増加したものの、3か月前と比べると余り変わらずに推移している。
	<input checked="" type="checkbox"/>	新聞社 [求人広告] (担当者)	それ以外	・民間で広告費が増加しているところはほとんどない。
	<input checked="" type="checkbox"/>	—	—	—